



なのはな通信

24年度 六ツ美中部小学校

校長室だより No. 7

平成 24 年 6 月 19 日

地域でよりよい生活を求めて

学区クリーン作戦

梅雨入り前の七日に恒例のクリーン作戦を行いました。通学団ごとに割り振られた場所で一生涯懸命に草取りやゴミ拾いをしました。パイプラインが埋め込まれた高橋用水遊歩道の環境保全活動は、地域を守る活動の一つであり、その歴史を子どもたちにも考えさせたいものです。今後も全校で取り組み活動を大切にしていけます。



一年生のさつまいものつるさし

十一日(月)、おかさき農遊会の林悟朗会長さんに指導していただきました。一人一人の畝に「鳴門金時」と「紅はるか」の蔓を深さ五センチほど掘ったところに大きく育つことを祈って、ていねいに土を被せました。四十三人の一年生には畝の世話をすることが勉強です。



プール開き

十四日(木)、水泳の授業が開始される前に、プール開きを行いました。事故のないことを願って全校で安全を守る式を行ってから、水泳部員により手本となる泳ぎ方を見せてもらいました。全員が長い距離を泳げるようになることを期待しています。



釜石小学校の子どもたちに学ぶ

釜石では約3千人の小中学生が素早い避難を行い、大津波を生き抜きました。「釜石の奇跡」です。その中で、地震が発生したときには、放課後のため、ほとんどの子どもが下校していたのが釜石小学校です。学校にいないので先生の指示も受けられません。家に一人にいる子どももいました。しかし、子どもたちは大人顔負けの確かな判断で、全校児童184人全員が一人も命を落とすことなく無事に避難したのです。釜石小学校の子どもたちの言葉に学びました。



「自分の身は自分で守るように」と言われてきたので、お母さんやお父さんのことを考えないで、まず自分一人でも生き延びろって言われてたんで、一人で逃げました」

「津波がギリギリで止まったとかを奇跡っていうけど、今回はちゃんと実力で逃げたのだから「釜石の奇跡」よりは「釜石の実績」の方が言葉があってる」

「避難訓練で何回も練習してるから「釜石の奇跡」ではなく、実力を発揮しただけです」(NHKホームページより)

《避難の三原則》

- 1 想定にとらわれるな
- 2 最善をつくせ
- 3 率先避難者たれ

《六ツ美中部小では》

十六日(土)、「引き渡し訓練」を行いました。が、



常に、冷静な対応ができるように準備しましょう。